



# 西荒瀬保育園 nishiarase nursery school みどりの保育園



社会福祉法人西荒瀬協会 西荒瀬保育園では平成20年度より、園児の自然に対する関心を高め、感性や知性の向上、愛着や心が豊かになることを目的とし、年間を通して森林環境教育『みどりの保育園』事業を行っています。

平成22年度には保育園のまわりにある豊かな自然環境を活用しようということで、庄内森林管理署と「遊々の森」の協定を結び「しんちゃんの森」を設定しました。森林を整備し、子どもたちが感動し、体験しやすい環境を作っています。子ども達は雄大なクロマツ林の中で日々自然と触れ合い遊んでいます。

## 5月 しんちゃんの森整備

## 活動内容

## 5月 きのこの駒うち



保育園裏手の国有林の「しんちゃんの森整備」を保護者の方々と整備しました。



しいたけ、なめこの菌を木樫で駒打ちを行い、しいたけを収穫しました。

## 5月 クロマツ探検隊1



双眼鏡等でサギのコロニーを観察し、クロマツ林の大切さを学びました。

## 5月 森づくり隊



庄内森林管理署の方と一緒に、クロマツの苗木140本を親子で植樹しました。

## 6月 クロマツ探検隊2

## 9月 森で歌おう

## 10月 みどりの里親活動



万里の松原を散策し、北港緑地展望台では砂防林を見てきました。

日和山楽団さんと「クロマツの歌」をしんちゃんの森で歌いました。

扁海山の広葉樹林を散策し、森の恵みに大喜びしました。伐採木で作ったプランターに木の実を植えました。

### 活動の感想

みどりの保育園は森や自然とのふれあい活動として地域の事業所や保護者の方々と一緒に年間13回行っています。子ども達は自然とふれあうことで元気に駆け回ることができる「健康な身体」又、しいたけの収穫や小鳥・リスとの出会い等で「自然の恵みに感謝する心」が育っています。子ども達と家族そして地域の方々と一緒に、みんなで故郷の自然や生き物を大切にしていこうという思いが育まれることを願って森や自然とのふれあい活動を進めていきたいと思っています。